令和７年度 森林環境譲与税の使途内訳

事業名	事業総額（千円）			事業内容	取組みの成果	参考
	(A)+(B)	(A)うち令和７年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）			
木製複合遊具更新工事（本田北公園）	40,561	5,627	34,934	市立本田北公園に存する木製複合遊具の老朽化に伴い、既存木製複合遊具の撤去及び木製複合遊具１基を新設するとともに、砂場１基、ベンチを２基新設する。なお、使用木材は全て多摩産材とした。	令和７年度も前年度に引き続き、老朽化が顕著になった市立公園の木製既存遊具を撤去し、児童用の木製複合遊具を設置することで、子どもたちの遊び場の充実を図った。	
奥多摩・武蔵野の森に関する協定に基づく管理・啓発事業	980	980	0	これまで行ってきた森林再生の取り組みのレガシーを次世代へ引継ぎながら、引き続き都市住民が森林や林業に対する理解を深め、自然環境への関心を高めることができるよう、必要な措置に取り組んだ。	「奥多摩・武蔵野の森」(94.17haのうち3.35ha)の適切な維持管理を実施するとともに、森林や林業に対する理解を深めるため、市職員を対象に現地視察会を開催した。	
第４期二俣尾・武蔵野市民の森に関する協定書に基づく管理・啓発事業	2,420	2,420	0	森林のもつ公益的機能をより一層活かすため、適正な森林整備をすると共に、自然との触れ合う機会の少ない都市住民が自然体験の出来る場として活用した。令和３年４月１日から開始した第４期協定では、協定区域を拡大し、withコロナ時代に対応する事業として取り組んでいる。	「二俣尾・武蔵野市民の森」（9.86ha）の適切な維持管理を実施するとともに、「森の市民講座」を５回開催し、森の散策と森の素材を活用したクラフトを市民に体験する機会を提供した。	武蔵野市が行っている東京の森林を守る取り組み 
「遠野の森」ベビーギフト事業	4,516	4,400	116	本市の０歳児を対象に、出生記念品として、本市の友好都市である岩手県遠野市の木材を使用したおもちゃを贈呈し、木材の普及啓発を行った。	遠野市の木材を活用して作製した木製おもちゃを市民に配布することで木材を有効利用するとともに、木育の推進を図った。	

令和７年度 森林環境譲与税の使途内訳

事業名	事業総額（千円）			事業内容	取組みの成果	参考
	(A)+(B)	(A)うち令和７年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）			
武蔵野市立第一中学校の改築に伴う造作家具事業	9,020	4,510	4,510	第一中学校の改築に伴い、什器等に多摩産材を利用した。 校内の３階４階の吹き抜け部の周囲及び自習ラウンジに、カウンターテーブル（多摩産材を使用）を設置した。	校舎の吹抜け部分に木材を有効利用した。また、生徒用のカウンターテーブルを設置し、教育環境の木材化を図った。	